

会員だより

1981
NO.4

◆発行 所沢市高齢者事業団

所沢市西新井町20-1 ☎ 0429(95)0095・0044



就労災害をなくしましょう

会員の皆さんのご協力とご努力によって、当事業団も着実な歩みを重ねて、

やがて2年半が経過しようとしております。

会員数は400名になろうとしているし、仕事の契約高も月平均600万円を超える額となっています。しかし、会員全員が就労するまでには程遠く、大きな課題となっております。



また、最近、就労中の怪我や就労途中での交通災害が増えております。寒さや暑さの厳しい時期には、とかく集中力が欠けて事故が多くなるといわれております。事業団として災害保険に加入はしておりますが、充分な補償とまではいっていないのが現状です。

生きがいを求めて第二の人生を楽しく働くことが、私たち高齢者事業団会員の願いですから、就労される方は充分に留意して、無理のない就労を願って止みません。

県議の先生方も感心

— 県議会議員13名、事業団を視察 —

高齢化社会に関する総合的対策のための調査として、1月21日、県議会福祉対策特別委員会の委員さん13名と県の関係者が、当事業団を視察されました。

当日はご多忙の中を地元の齊藤博県議をはじめ、市から粕谷助役、内野生活福祉部長の方々が出席されました。

時間が1時間という制約された中での視察でしたが、粕谷専務理事から事業の概況が報告され、その後事務所や作業所をみられました。

短い期間にこれだけの事業実績をあげるにいたった運営に感心され、今後の協力を約されて視察を終りました。

独自事業の研究チーム活躍中

～早ければ年度内に方向付け～

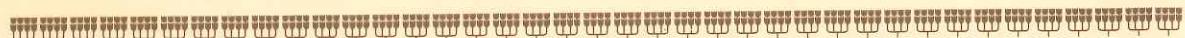
皆さんからお受けした注文に対して就労するばかりでなく、事業団自らが直接事業を行って、一人でも多くの会員が就労の機会を得て、しかも地域の人々に喜んでもらえる事業を検討しようということで、昨年11月地区委員会を開いて、委員の中から次の方々をメンバーに、大河原副理事長をチーフとした、独自事業研究チームが発足しました。

- 大河原正一(副理事長) ● 村松順四郎(松井) ● 高橋義雄(新所沢)
- 石井 水(小手指) ● 粕谷 貢(事務局)

12月9日に第一回の会合がもたれ、いろいろ検討した結果、今後の活動日程等が次のようにきました。

- 12月23日……………清瀬市事業団視察
- 1月28日……………武藏野市事業団視察（午後打合せ会）
- 2月6日……………青梅市事業団視察
- 2月中旬～下旬…会員希望調査援助
- 3月上旬……………視察結果・会員希望調査結果の把握検討

なお、研究チームとしては来年度独自事業の実施に向って、早ければ年度内に方向付けをしたい考えのようで、今後の活躍が大いに期待されます。



交通指導員として

旧町地区 岡 部 加 三

私は昨年10月下旬から所沢駅前から住友銀行に至る、所沢プロペ大通りの交通指導員として、先輩と毎日勤務しております。

日常の仕事はいろいろありますが、主なものは、朝早く東京方面へ通勤、通学する人達や、日用品等を買物に来られる主婦の方達の、利用されておられる自転車やバイクの整理整頓です。

所沢駅周辺には、毎日1,500台以上の自転車やバイクの集結が考えられます。その1部の流れを親切に我慢強く指導しなければなりません。人は面白い一面があり、市や警察の駐車禁止の看板がいつも同じ場所にありますと、無いのと同じで、多くの人達は先を急いでその看板の前へ、堂々と自転車を置いて行くので、一時間もすると、その場所はたちまち自転車の列ができあがってしまい、商品搬入の車も通れなくなる状態となってくるのです。そこで、私達が登場する訳です。

「奥さん(ご主人さん)ここは交通の邪魔になるので、自転車を置いてはいけないのです」と軟かく話しかけるのが、最初の一言です。大部分の方達は、「ああ、そうだったね」と、心から了解され所定の駐車場へいかれます。一部には「みんな置いているではないか」「急ぐので」無言の人達反応はさまざまです。了解してもらえない方達に対しても、指導員は、絶対に頭にきてはいけません。再度説明を続ける訳です。又、プロペ通り周辺の道路上に乱放置のものも各時間帯毎にしめくくって、整理、整頓し、市より配布されている警告札をつけて歩きます。最初のころは、一箇所に100台以上の乱放置の自転車を整理するのに、幾度もサドルで右足をいため、血豆を作ってしまいました。幸い、作業開始以来四ヶ月が過ぎようとしており、整理、整頓も段々と進歩しつつあると思われます。

皆さんも既にご存知の如く、自転車の駐車問題は、全国至る所で取上げられ、都市の大きな悩みの一つであります。この問題は、一朝、一夕には解決出来ないものと思いますが、所沢市の顔であります所沢駅周辺が、いつも、きちんと整頓されるのを、私の生きがいとして、大寒にもめげず頑張っております。

●整頓のあとすっきりと松飾り

さらに腕を磨こう

—庭木の手入れ研修—

庭木の手入れ作業は所沢事業団の目玉商品で、受注件数も一番多いし評判もなかなか好い。

植木作業に就労している会員はさらに腕を磨こうと、昨年に引き続いて第2回目の研修に張り切っております。

受講する会員は現在庭木の手入れ作業で活躍中の方ばかり7名です。昨年は第1回の研修ということもあって、「基礎的な講義と実技」でしたが、今年は「さらに1ランク高度なもの」を望む声も多かったので、実技を中心に肌をさす北風にもめげず、「門かぶりの松」などに取り組んで、元気なところをみております。

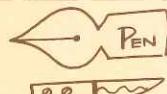
講師は昨年もお世話になった三ヶ島地区の太刀川先生にお願いしました。受講生は一つでも多くの技術を身に付けようと、先生の手元を熱心に見つめて真剣そのものでした。

日程は次のとおりです。

	期　日	場　所
第1回	1月19日	有楽町 中島宅
第2回	1月30日	弥生町 相沢宅
第3回	2月13日	山 口 さくら荘
第4回	2月20日	未 定



編集後記



梅も咲き始め春もそこまできた感じです。55年度も余すところ1ヵ月余りとなりました。

春とともに、また新しい年度の始まりとなるわけですが、暖くなれば始めたもので、戸外の仕事も楽しくなります。